

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	デジタル・ビジネス・トランスフォーメーション (TDB138)	配当学年	1
講義名 (コード)	デジタル・ビジネス・トランスフォーメーション (TDB138)	単位数	2
対象学科	グローバルビジネス学科	時間数	30
対象コース	デジタル・ビジネスコース	講義期間	春
専攻		履修区分	必修
授業担当者	居山 由彦	授業形態	講義
成績評価教員	居山 由彦	実務者教員	はい
実務者教員特記欄			

2. 本授業科目の概要

目的 (位置づけ)	
到達目標	
全体の内容と概要	
授業時間外の学修	
履修上の注意事項	
特記事項	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)

評価	評価基準	評価内容
S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	日程	講師	授業内容
1	4月19日	居山	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション（本授業の概要） ・デザイン思考とは？デザイン思考が注目される背景
2	4月26日	居山	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン思考が注目される背景 ・Customer Needs（潜在ニーズ／顕在ニーズ）を掘り下げる ・人間中心の発想事例からみるCustomer Experienceの重要性
3	5月3日	GW休日 休講 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・課題必要？ （・デザイン思考ワークショップの動画から気づきを得る）
4	5月10日	居山	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の共有 ・人間中心の体験をデザインするうえで大切なこと（内面の探索） ・顧客ニーズ探索のためのコミュニケーションスキル（傾聴&質問） ・デザイン思考を支える6つのマインドセット
5	5月17日	Future Spiral 山原 様	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン思考のプロセス（ダブル・ダイヤモンド） ・製品の開発ストーリーからマインドセットとプロセスを考える
6	5月17日	Future Spiral 山原 様	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の共有 ・ハイアスとアイデア創出法 ・オズボーンのチェックリストを活用しアイデア出し ・プロトタイピングで実際に形にする
7	5月31日	居山	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン思考 事例と演習
8	6月7日	居山	デザイン思考 まとめと Future Design 前期課題提示
9	6月14日	(株)メンバーズ 高見沢様	Future Design ・ Project Work1
10	6月14日	(株)メンバーズ 高見沢様	Future Design ・ Project Work2
11	6月21日	バス旅行	授業なし
12	6月28日	(株)メンバーズ 高見沢様	Future Design ・ Project Work4
13	6月28日	(株)メンバーズ 高見沢様	Future Design ・ Project Work5
14	7月19日	期末試験	
15	7月26日	追試	

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	
備考	